

第1回 豊和銀行支部 久保葵（大65）（2019.6.21）

大学65回卒業、豊和銀行支部の久保葵です。

今回、リレーメッセージのお話を頂いたとき、自分自身の在学していた4年間のことが思い出されました。

所属していたゼミナールで、何度も話し合いを重ねたこと、お世話になった地域の方と深い繋がりができたこと、サークルで障がいを持った方と一緒に旅行へ行ったこと、アルバイト先でお客様に喜んでもらえたこと……私の大学生活は振り返ってみれば、いろいろな人に出会い、教えられ、支えられていた4年間でした。

大学時代の友人とは、卒業後も旅行に行ったり、ご飯を食べにいたり、交流を続けています。毎日会っていた大学時代ほど頻繁に会うことはできませんが、仕事のこと、大学時代の思い出話など、話が尽きることはありません。

大分大学は私にとって大切な時間を過ごしたかけがえのない場所であり、楽しい時も辛い時も同じ時間を過ごした友人は一生の宝物だと思っています。

卒業後、社会人となり、最初は学生とは違う環境で働くということがとても不安でしたが、豊和銀行には四極会の先輩方がたくさんいらっしゃり、新入行員の私たちを温かく迎えてくださったので、すぐに馴染むことができました。

また、職場の中に困ったときや迷ったときに相談にのってくださったり、何かと声を掛けてくださったりする四極会の先輩方がいることは、とても心強く、感謝の気持ち一杯です。

そうした中で、2022年に母校が創立100周年を迎えるにあたり、豊和銀行支部としても、記念募金事業には是非協力しようということになり、私もたくさんのお出会いと学びをくれた母校に少しでも恩返しができたらと思い、今回募金に応じました。

これからも大分大学で過ごした4年間のことを忘れず、大分大学の卒業生としての誇りを持ち、また四極会の一員として、自覚をもって仕事に励んでいきたいと思っています。

現在、湯布院支店に勤務中です！